

作成日 2020年6月1日 第1版

臨床情報使用に関するお知らせ

『研究課題名 胃癌症例における多施設共同後方視的研究 』

【研究の背景および目的】

われわれは胃癌治療ガイドラインを見ることで、さまざまな治療法を知ることができます。しかしながら、ガイドラインに記載の無い病状や病態の症例は、単施設では十分な症例数がないことから正確な統計解析が難しく、科学的根拠が得られません。

そこで、東邦大学医療センターを含めた多施設での共同研究により、単施設では科学的根拠を構築できない過去の胃癌治療症例データから、後方視的解析を行うことで、より正確な科学的根拠を構築することを目的として本研究を計画しました。

2000年前後には、胃癌治療ガイドラインを遵守した治療方法が普及しており、この研究で得られる成果は、この時期以降の症例を中心とした解析を行うことであり、今後の治療成績向上につながります。

【対象および方法】

この研究は、横浜市立大学「人を対象とする医学系研究倫理委員会」にて審査され、病院長の許可を得て実施するものです。

2000年～2023年3月に主施設の東邦大学医療センターを含めた15施設において、胃癌の治療を受けた患者さん(約5000人)を対象とします。

ただし、当院(横浜市立大学附属市民総合医療センター)では2000年～2019年12月までの患者さんを対象とします。

過去の診療録(カルテ)から抽出した手術成績や化学療法の効果や合併症、臨床病理学的因子の評価などを解析することにより、手術成績や化学療法に影響を与える因子を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【研究期間】

2020年7月29日 ～ 2023年3月31日

【連絡先および担当者】

横浜市立大学附属市民総合医療センター

消化器病センター外科

住所： 232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

研究責任者：助教 佐藤 渉

F a x： 045-261-9492

E-mail： shosato@yokohama-cu.ac.jp

（お問い合わせは、Fax、e-mail 又は郵送でお願いいたします）